



## 6月26日 第7回同窓会開催



### 弦巻中学校は「まほろば」

同窓会会长 新川 勝二

同窓会総会は7回目を迎えることになりました。これもひとえに役員、皆様のお陰と感謝しております。中学校も今年で55周年を迎えます。

「母校というのは、かつて学生生活をともにした者同士が、心の故郷として懐かしむところ」という言葉がありますが、建立っていった生徒数も13,000人近くいるわけで、楽しいことも悲しいことも、苦しかったことも、思い出は同じ数だけあると思います。

山月記に、「何かをなすには人生は、あまりに短い」という言葉がありますが、夢中で夢を追いかけていたことが実現できるような人生を送りたいものです。

表題のまほろばとは、「すばらしい場所」を意味する古語です。一人ひとりが違う生き方の中で、中学時代を共にすごし、皆と同じ思い出、あるいは他の人と違う自分だけの思い出を大切にして、人生の節々で中学時代の楽しかった思い出を改めて思い返してみるのも意味のあることではないでしょうか。

私は1回生ですが、当時は、駒沢中、桜木中、深沢中の寄せ集めで2年生からでした。校舎は古い木造で廊下は波打っているし、校庭の真ん中には川が流れています。川で2つに分かれている校庭は、はじっこにある一部分の校庭で行ったり来たり、体操の時間には一列になって小石拾い。新1年生も驚いたことでしょう。しかしそんな状態も1学期の夏休みで終わり、整備も徐々に進み学校としての体裁も整ってきました。不安だった気持ちは、そんな状態でも結構楽しかったことを覚えています。

それは当時の校長先生始め先生方が生徒のことを想い、一生懸命だったからとしっかり記憶しています。これもうれしい思い出の一つです。今の弦巻中学校の姿は昔の面影はないけれど、小池校長先生の肝いりで発足した同窓会は、歴代の校長先生、最近では橋本校長先生の理解・協力を得て、活動はしっかりと根付いてきました。弦中同窓会の役員一同、他の中学校同窓会の手本となるように、さらに発展をしていかなければならぬと考えております。





# 弦巻中学校との出会い

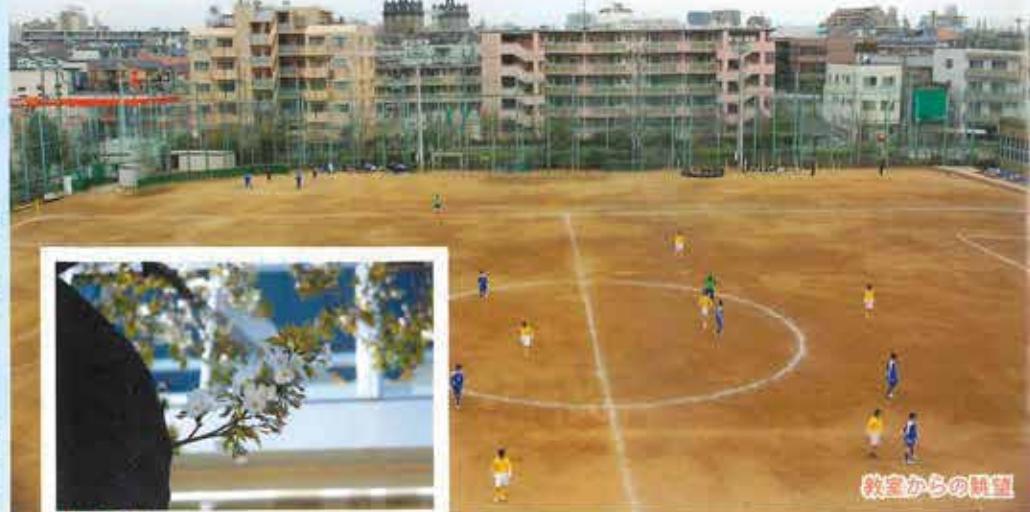


校長 野瀬 博

我々の世界では、「転勤地に関して、以前に何らかの関係があったところに勤務するものだ。」とよく言われます。私自身世田谷区での勤務は全く初めてでしたが、2年ほど前に西門近くの接骨院（当時）に約1年間通っていたのです。その時に、「この学校の校庭は、なんて広いのだろう！」と思ったのですが、まさかその学校に自分が校長として赴任するとは考えもしませんでした。正に、前述のことば通りと実感させられた次第でした。

さて、今年度本校は地域運営学校、「世田谷9年教育」のパイロット校として2年目を迎えました。同様に地域運営学校である近隣の弦巻小学校・松丘小学校と連携しております。世田谷9年教育となっておりますが、この三校によるグループでは、松丘幼稚園も含めますので、幼稚園の2年間を加えて「11年教育」を展開しております。初めて本校の生徒を見たときに同好会活動（部活動）で大きな声で練習に励んでいる生徒が多くいたことと、特別支援学級1組の生徒が生き生きと活動していたことに感動し、本当に落ち着いたよい学校に赴任したと思いました。そして、元気で活発な生徒を見るにつけて、「優しさいっぱい弦巻中」という生徒会が作った標語に加え、「ACTIVE SCHOOL弦巻中学校」と掲げさせていただき、私の学校経営方針の土台となる基本理念とさせていただきました。

今、1年が過ぎようとしており、この間弦和会や同好会、並びに地域の方々に支えられながら教育活動を進めて参ることができました。更に、学校運営委員会や学校関係者評議委員会の会員にもなっていただいている同窓会の方々には本当に世話になっております。「弦中フェスタ」や「ポロ市」では、本当に熱心に活動されており、正にACTIVEな活動であると思います。本校のホームページも一新いたしましたので、本校の様子もよく見ていただきながら、今後とも、本校教育活動に対し、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



校庭の桜



耐震補強の筋交い鉄骨の窓



中央昇降口の水飲み場 みんな使ったよね!



2階～3階への踊り場



これ、トイレです！



## 中学校近況



副校长 荏込 希

この春本校を卒立っていった生徒たちと、受験前に面接練習を行う機会がありました。面接官役の私が「あなたの通う弦巻中学校はどんな学校ですか？」という質問をすると、生徒たちは緊張しながらも、皆しっかりと自分の意見をきかせてくれました。代表的な回答をいくつか紹介します。

- ・「やさしさいっぱい弦巻中」というスローガンの学校
- ・何事にも積極的（ACTIVE）に取り組む生徒が多い学校
- ・生徒会主催のボランティア活動がさかんな学校
- ・給食がとっても美味しい学校、バイキング給食がある学校
- ・卓球部や陸上部、柔道部など部活動がさかんな学校
- ・体育大会や合唱コンクールなどの行事がさかんな学校……等々

ひとりひとり自分の弦巻中があるのでということを実感しました。また、自分の学校に対する誇りと愛着が感じられて、とてもうれしく感じました。

私が本校に赴任して2年の月日がたちました。私にとっての弦巻中は「強力なサポーターに支えられた学校」です。弦和会、同好会、学校協議会をはじめとする地域の皆様、そしてこの同窓会・・・副校长としては本当に頼りがいのある強力なサポーターです。2年前に世田谷区から「地域運営学校（保護者の方や地域の方々が学校の経営に参画する学校）」の指定を受けて、サポーターの輪はさらに広がりました。

副校长という立場は、いわば学校の渉外役です。これからも学校に対するサポーターからの熱い思いに応えられるよう、努力をしていきたいと思います。



# \* \* 同期会だより \* \*

## 5期

私達5期生は昭和20年、終戦の年に生まれました。昭和33年入学当時の校舎は、木造2階建てのあんほろ校舎で3年生の時に現在の4階建てコンクリート校舎に移り感動した事を今でも想いだします。

昨年10月に18年ぶりに同期会を開催しました。参加者は43名、4クラス約200名のうち住所が判明した人が約120名で、約2割の参加でした。

お元気な松原先生をお招きして、冒頭物故者に黙祷をささげ会は始まりました。

中には卒業以来の人も多く約50年ぶりの再会となり、最初は皆名札と顔を見比べて思い出そうと一生懸命でしたが、プロジェクトで卒業当事の顔写真をスクリーンに映し出し、本人がしゃべり始めるとすぐ50年前にタイムスリップして大変な盛り上がりでした。

## 5期 滝口 和成

二次会では修学旅行、運動会、部活などの写真でまたまた盛り上がり皆50年の空白を忘れてしまったようでした。会は三次会、中には四次会まで続き、次回の再会を誓い合い解散しました。



## 6期



2006年4月15日に、卒業45周年を記念して6期同期会が三軒茶屋のキャロットタワーで行われました。

当時美人の誉れ高かった英語担当の三沢先生と、面白くて生徒に人気のあった生物担当の松原先生をお招きして総勢60名が集まりました。当時紅顔の美少年、美少女

## 6期 野萱 勝久

であった我々も、45年の歳月は如何ともしがたいものの、昔の面影は残っており、お互いどうにか識別はできました。入学当時、校舎は木造2階建てで、瓦が波打っていたことをよく覚えています。また、我々1年生だけが仕切られた体育館で1年間授業を受けたこと、夏は暑いので廊下側の扉を開け放っておるので、他の教室で先生がしゃべる声がよく聞こえたこと、また、冬は非常に寒かつたことなどを思い起こしているうちに、あっという間に会が終了てしまいました。

同期会は6期としては今回初めて開いたのではないでしょうか。また、機会があれば参加したいのですが、残り少ない我等にとってはもう無理かな？

最後に会の開催に尽力いただいた荒井健太郎氏が、その後まもなく亡くなられたと聞きました。ご冥福をお祈りいたします。

## 18期

東京の桜の花も終りの平成21年4月18日、この年は我々が50歳を迎えた記念すべき年でして、初めてのお泊り会として山桜が満開の箱根仙石原で弦中18期同期会を開催いたしました。

富山、新潟からの参加者、仕事を終えてからの参加者、金時山を踏破してからの参加者、日帰り参加組など、とても予定を調整出来なかったのでコテージを一軒貸し切って、夜遅くと言うより明るくなるまで語り合い、在学中の昭和46～48年頃まで一瞬でタイムスリップしていましたが、容姿と体力はその時までは戻ってくれず、調子を取り戻すのに数日を必要としたメンバーも居たことと思います。

翌日はガラスの森見学や箱根のドライブ、名物の手打ちそばを食べ、すっかり修学旅行か遠足の気分で帰京い

## 18期 長谷部 俊

たしました。

節目の良いときに皆で同期会が出来たことに感謝いたします。人生50年、いや、これからですよね。



## 同窓会設立の思い出

顧問 小池 源一



弦中フェスタやぼろ市での活躍は名実共に地域に根ざした「弦巻中学校同窓会」としての誇りであります。

平成元年4月に着任したその日が私の心に残る同窓会の出発点になっていました。

学校の玄関に出迎えてくださったPTA会長新川勝三氏との出会いがあり、その時、弦中には全体的な同窓会の組織がなく多くの卒業生からまとめてほしいとの声がありました。

早速組織作りに取り組み、卒業生の方々にデータ収集をお願いしたり、教職員の協力を得て、その秋ごろには結成する段取りができ、年度末に同窓会が発足したことを思い出します。同窓会組織に協力してくださった担当の先生方、そしてデータ収集に協力してくださった卒業生の力強い協力のおかげで「弦巻中学校同窓会」が誕生したわけです。

今後ますますの発展を期待しております。

小池先生は、3月6日ご逝去されました。この原稿をお預かりした数日後、突然の訃報に接しました。

驚き悲しみと共に同窓会顧問として、いつも温かくお励まし下さったことなど楽しい思い出が走馬灯のように巡ります。先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

## 逝去された先生（敬称略）

小池源一、井上泰昭、東末 孝、富永昭二  
金谷善弘、山本章一、竹内正三、山本慶次  
田中主計、浜田総一郎、堀江恒仁、三橋勝敏

## 文化的に充実していた14年間

松井 和夫



昭和44年から58年まで長くいたほうだと思います。生徒たちによく話したことは学校って何だろう…①勉強するところ②友達つくるところ③将来を考えるところ…そして思い出をいっぱいつくろうね…と。

連陸での連続優勝を始め、運動部で生徒たちはスポーツという運動文化に親しみ、多くの思い出をつくっていたのではないでしょうか。スポーツに強い先生もたくさんいらっしゃいましたが、卒業生がすいぶん来校して指導に当たってくれました。

私は生徒会を担当してスポーツが苦手な生徒も弦中が楽しい所と感じられるようにしたいものと考えて九品仏浄真寺写生会

## 同窓会の役員の皆様に感謝

前校長 橋本由愛子



弦巻中学校に勤務して、同窓会の皆様に出会いました。4年間でしたが多くのことを支えていただきました。

教職40余年の歳月の中で、同窓会活動がこれほど活発な学校は初めてでした。

一年間の活動の中でも、「弦中フェスタ」、「ぼろ市」は大きなものでした。

特に、弦中フェスタは、元校長長田先生が、子供たちの健全育成を願って立ち上げたことを伺いました。「同窓会の力を發揮してほしい」との熱き願いや思いを同窓会の役員の方々が受け、13回にまでなりました。今では、フリーマーケットに参加される方々が200ブース。そして地域の方々が3,000名以上楽しみに来校されるまでに発展しました。同窓会の活動に、弦和会（PTA）、同好会等も協力し、一緒に楽しんできました。素晴らしいことです。

創立50周年では大きな力をいただきました。校庭には、子供たちや地域の方々の避難所として使用できるように、かまだベンチを5基いただいたり、校内の施設・設備の環境を整えたり、いつも、生徒たちを見守り、支えてくださっています。

心から感謝申し上げると同時に、同窓会の益々の発展を願っております。



（バスケット部の女子が大多数）、東京の地下展示学（地下鉄工事現場からの発掘物）映画ET鑑賞会など一緒に私も楽しみました。

科学部では「草から紙作り」を成功させました。私は藁を探している間に生徒たちで草を原料にして作ってしまったのです。

折り紙クラブ（水曜日の5校時）にはなんと100名を越えて集まってきた年がありました。その時ウサギの折り紙を3年生に教わりいい思い出になりました。

授業でも秋田先生のおかげで天文が好きになり、「黄道12星座」の早覚えをみつけたこともありました…いて・やぎ・みす・うお、おひ・おう・ふたご、かに・しし・おとめ・てんびん・さそり…です。1月に太陽が「いて座」にあって、いて座は見えないのでそこから覚えるのです。

私にとっては文化的に充実した14年間でしたし思い出の多い弦巻中だったと思います。

ところで折り紙のウサギは次の学校でも評判がよく、持っていると幸せになると「しあわせウサギ」と名付けられて人気を集めました。ウサギの折り紙を教えてくれた女生徒のお名前を覚えなかったことが悔やまれます。ぜひお会いしたいです。

# \* \* \* \* \* 先生方からのメッセージ

## 弦巻中との長くて深い係わり

白井 順



同窓の皆様こんにちは。私は1961年から10年間、教員（理科）としてお世話になりました。顧みると、私の教師としてのスタートと弦中の創立が同年度でありました。隣の深沢中へ勤務する途中、あの木造の古校舎が立派な鉄筋校舎に進化？するのを見ていきました。

そうして6年が過ぎて、弦巻中に転勤したのです。そのころの弦巻中はまさに興隆期であり、私にとってもやり甲斐のある充実した教師生活を享受できました。いろいろな出来事があり、当時の方々との思い出は豊富です。

一般的に転勤後は縁が薄くなるのですが、私の場合は、住居が近く2人の子供が'77～'78にかけてお世話になりました。（洋子24期、正明28期はそれぞれ小学校関係の仕事についています）さらに私は、退職後、区教育センターの相談員として、93年から4年間弦巻の地へ通い続けたのです。

昨夏、喜寿を迎ましたが、元気なうちは同窓会にぜひ出席したいと念しております。

白井先生はご趣味のカメラを片手に、年に何回か撮影旅行に出掛けられます。その中より1枚を頂きました。



2009年2月 白川郷にて

## 卒業式を終えて

2009年度 3年B組 担任 加藤 清春

3月19日に第54回卒業証書授与式が行われました。今年の卒業生は118人でした。

卒業生には卒業番号があって、今年は13003番から13120番までです。そして、卒業式では校長が卒業証書を生徒一人一人に手渡します。今年の最初の生徒と、最後の生徒には証書を全部読みあげます。



卒業証書で気になるのが卒業番号です。13120号ということは、それだけの卒業生がいるということ。もし、弦巻中の全卒業生が一堂に会したらどうなるかな。などと考えたりするのです。体育館にはいりきれない。校庭ならどうだろうか、13120人、頭の中ではふーん1万3千…か。なんとなるだろう。しかし、実際に見てみるときっと腰を抜かすだろうな。何時間かかるかな。でもちょっとやってみたい気がする。

校庭にどうやって並んでもらおうか。卒業年度順にしようか、やはり卒業番順になるかな。しかし当人が果たして番号を覚えているだろか。前もってハガキで通知を出せばいい。しかしそれだけで65万6千円かかる。でも、それを書くのは極めて大変、いったい誰がやるのか。きっと同窓会の役員、各卒業年度の幹事の方が総動員で…。

そんなことを考えると同窓会を運営する方々のご苦労がよくわかります。

みなさん、頭の中で年に一度同窓会総会をやってみませんか。そして弦巻中の同窓会がこれからも益々発展することを願っています。



紺青の 澄んだ大空  
富士の嶺も ぼるかに浮び  
見はるかず 広いこの校庭  
踊ろうよ 手足伸ばして  
楽し たのじ  
われらの弦巻中学校

里見朝慶 作詞  
山岸磨夫 作曲

校 歌

深遠の ゆるがぬ真理  
仰ぎ見る け高い理想  
若人の 生命の泉  
汲みとろう 心ゆくまで  
進む すすむ  
われらの弦巻中学校

永遠の 世界の平和  
たゆみない 輝く文化  
もろともに 心あわせて  
築こうよ 力の限り  
励む はげむ  
われらの弦巻中学校

# \* \* 同窓会活動報告 \* \*

## 弦中フェスタ(フリーマーケット)

7期 沼田 彰



弦中フェスタ(フリーマーケット)は、毎年10月の第4日曜日に弦中の校庭を使用して開催しています。

年末のボロ市の讃岐うどんの販売と共に、弦中同窓会の毎年の二大イベントの一つです。

弦中フェスタは第3回同窓会総会のイベントとして始め、その後は毎年開催するようになります。昨年で13回を数えます。

出店数も最初の約50店から徐々に増えて、最近は170店を越えるようになりました。

10月の後半は天気が不安定なことが多い、役員を悩めさせます。ここ数年は前日が雨だったり、当日の朝に雨が降ったり・・・。それでもその2年間は校庭での開催ができたのですが、昨年はついに前日からの雨のため、体育館などの屋内での開催になりました。それでもこのイベントを毎年楽しみにしている方が多く、予定した会場には出店者やお客様で一杯になりました。



弦中フェスタは単なるフリーマーケットではなく、お餅やヤキソバなどの模擬店があり、ステージでは弦中生徒さんのプラスバンド、和太鼓、ビッグバンドの演奏等があることが多くの方に来ていただけるのだと思います。

規模が大きくなり、イベントも多くなることでお客様には楽しんでいただけますが、準備する側はそれだけ大変になります。同窓会の役員以外にも弦中の教職員の方々、弦和会(PTA)や地域の協力者の皆さんとの力添えがあって、初めて成り立つたと、感謝をしています。

多くの同窓生の皆さんにぜひ準備、運営に参加していただき、みんなでこの弦中フェスタを盛り立てて、いつまでも続けていけることを願っています。



## 幻のうどん、ボロ市にあります

18期 長谷部 俊

年末・年始の世田谷の風物詩「世田谷ボロ市」は12月15・16日、1月15・16日に開催され、弦中同窓会はパックの讃岐うどん販売で代官屋敷前、世田谷信用金庫側に桜小学校の招き猫と並んで出店しております。



取扱量も年々増え、カレンダーや天気予報とにらめっこしながら決め、今回は24,000食を用意しましたが、おかげさまで早々に完売いたしました。いつも店が閉まっているので「幻のうどん」と言われる所以です。

この弦中うどん、ボロ市専売品なので返品できず、過去、ボロ市が雪で中止になった時のトラウマもあるので担当者は毎年、胃を痛めております。

しかしながら、この弦中うどんを待っていて下さるお客様が居る事も確かで、1年ぶりに懐かしく来店され、10箱、20箱と買ってくださいます。

品質でご意見を言って頂けるお客様もいらっしゃいます。

弦中が讃岐うどんの販売を手がけて15年たち、これらの事も信用がついてきたからと思い、ありがたい事だなあと感じています。

ボロ市での弦中うどんの売り上げは全額ボロ市保存会に入金され、ボロ市会場で毎年行われるパレードに出演する小中学校のマーチングバンドの育英資金や、近隣の小中学校に配分され、有効に使われております。

店舗運営にあたり、早朝の店舗設営、夜の解体、運搬にご尽力くださる弦中の校長、副校長、教員、主事の皆様、オヤジの会「弦コツクラブ」改め「弦つるクラブ」の有志の皆様、PTA弦和会からは売り子さんである看板ママさんを延べ90人も動員して頂き、ありがとうございます。また、声をかけてくださる先輩の皆様、地域の方々、同窓会だけでは足りないところをこれらのお力を拝借して運営しています。

伝統432年、無形文化財に指定されたボロ市で年末・年始の雑踏を聞くのも一興です。

チョッと覗いてみて下さい。懐かしい顔が居るかも知れません。

赤い看板と幟旗が目印です。



弦眷中学校同窓会 会計報告

平成19年4月1日～平成22年3月31日

収 入		支 出	
平成19年度			
繰越金	5,382,495	総会経費	937,084
52期会費	193,500	総会会場費	636,125
総会会費収入	574,000	フリマ支出	498,767
フリマ収入	621,775	19年精算分	130,890
ボロ市謝礼	85,000	次期繰越金	4,657,162
利子	3,258		6,860,028
	6,860,028		
平成20年度			
繰越金	4,657,162	掃除ロッカー寄贈	299,880
53期会費	195,000	フリマ支出	517,451
フリマ収入	619,711	同窓会室工事費	422,995
ボロ市謝礼	85,000	同窓会室備品	18,000
利子	908	慶弔費	10,410
	5,557,781	雜費	2,915
		次期繰越金	4,286,130
			5,557,781
平成21年度			
繰越金	4,286,130	同窓会室備品	266,863
54期会費	177,000	運営費	110,806
フリマ収入	440,350	フリマ支出	436,509
ボロ市謝礼	135,000	涉外費	20,673
利子	604	慶弔費	30,000
	5,039,084	次期繰越金	4,174,233
			5,039,084

上記決算につき監査の結果適正であることを認めます。

平成22年4月14日

監事：山内 繁

監事：山田 裕一

次期役員候補

会長	1期	新川 勝二	(留任)
副会長	10期	近田 優子	(留任)
	18期	長谷部 俊	(前書記)
会計	1期	長瀬瑛侃子	(前代表幹事)
会計監査	1期	後藤 宣夫	(前副会長)
	19期	山田 裕一	(留任)
書記	11期	蜷川 澄夫	(留任)
	17期	本田 巍	(留任)
	5期	森 明子	(前代表幹事)
代表幹事	1期	山内 騰	(前会計監査)
	2期	横田 節子	(留任)
	4期	天野 恵夫	(留任)
	6期	鈴木 武	(留任)
	7期	沼田 彰	(前副会長)
	7期	三田 博	(留任)
	10期	高橋 将美	(留任)
	11期	野田 和也	(新)
	13期	松本 慎一	(留任)
	14期	古川 進一	(留任)
	16期	小林 康弘	(留任)
	18期	丸山 正高	(留任)
	28期	小川 達夫	(留任)

### 特別会費を振り込まれた方

醫又一子惠子朗子江武子子之子伸子子惠美  
宗精陽久佳芳庸春 知啓信恭晴啓玖孝広  
内崎村島川間中部木西山井川阪岡條口葉  
山飯野二中中佐田広鈴上片玉吉松松五洞千  
杉草代道男子造也子子英子亨司司子二り夫夫子子  
良 静正富和啓真雅洋清直 憲憲聖祐ま澄 宣節更  
根 謙英み隆功正哲 利利浩俊 鄉素隆多敏健幸葉雅  
嶋山田井原田田友原澤部 澤田野木島野野藤山  
谷 谷 三三原池吉今安村大中平長岡小原星鈴田今今伊霜  
角篠佐相瀧金宝大大大山田山宮增金鷗直佐村松林  
子子美子美和子香一裕子之子郎子彦久訓彦子敏子  
根 里 み久久津尚文美結良康寿駿泰英香邦政永靖恵和  
代 里 岛崎藤田本井樹場場梨代川原田森崎江藤上本

\*記載漏れの方がいらっしゃいましたらお申し出ください。次号に掲載させていただきます。

●特別会費納入にご協力を

当同窓会最大の悩みは活動資金の不足にありまして、毎年の卒業生に納めていただくなればでは、少子化の進む中で1万名を越す同窓生の会を支えていくことが困難な状況です。

弦中卒業生の絆を末長く維持するための同窓会活動にご理解いただき、今回も特別会費納入をおあらためてお願いする次第です。ご好意をお寄せ下さい。

お手数ですか所定の振込用紙を同封致しますので、宜しくお願ひいたします。

会費：1回2,000円（回数でも結構です。）

第7回同意会会費と同じ振込先にお願いいたします。

# 第7回 同窓会のお知らせ

《同窓生の皆様へ》

もうすぐ皆様と会える日がやってきます

私達「弦中同窓会」は、今年 19歳です



開催日時：2010年 6月26日（土曜） 13:30～16:30

受付開始 13:00より

開催場所：品川プリンスホテル メインタワー 39F【トップ オブ シナガワ】

〒108-8611 東京都港区高輪4-10-30 TEL. (03) 3440-1111

会 費：7000円

内容：1部・・・総 会

2部・・・懇親会 先生方・同期生・先輩・後輩と一緒に食事＆歓談をお楽しみください

★申し込み：同封の申し込み用紙または下記のいずれかにお振込みください。

尚、会場準備の都合上、6月5日迄に申し込みをお願い致します

弦巻中学校同窓会 会長 新川勝二

・三菱東京UFJ銀行 駒沢大学駅前支店 普通 0115053

・ゆうちょ銀行

他金融機関からの振込み 店番 018 普通 口座番号 3607164

ゆうちょ銀行からの振込み 記号 10180 番号 36071641

★問合せ先：沼田 彰（7期 S38年卒）

近田 優子（10期 S41年卒）

長谷部 俊（18期 S49年卒）

★アクセス：品川駅高輪口へ

★出席予定の先生（敬称略）5月1日現在★

山口要人 上野 洋 山田敏雄 志賀平治 松井和夫 斎藤柳子 白井 顯 遊佐勝一

道家信之 柳田淳一 永野剛夫 宮川秀世 安齋正則 橋本由愛子



## 2007年 第6回 同窓会レポート

10期 近田 優子

前回総会は今年の会場と同じく品川プリンスホテルにて開催いたしました。

先生方には27人出席いただくと言う快挙、私達卒業生は100人近く集まりました。

でも・・・先生方からは、「教え子が余り来てなくて寂しい」と話されるひとコマもあり、教え子の顔を楽しみにして頂いているのに・・・申し訳ないなあ～と、もっと広報に努めなければと思つた会でもあったのです。

幹事のいない期は、年月と共に住所がこぼれ落ち、弦の子発送の度に行方不明者が増えて行きます。それぞれの期でケアしてくださる方が欲しいですね。

お世話になった先生方にも会える3年に1度のチャンスなので、もっと気軽に集まりましょうと、呼びかけたい運営委員会です。

当日 品川プリンスに集った弦中の思い出の顔・顔は、どのテーブルも話に花が咲き、ホテル開催という事で、アクセス・お料理とも評判よく、笑い声と楽しい時間がいっぱいでした。

ホテルでの会、出席の皆様には「あの会費で開催費用が足りるのか？」とご心配頂きましたが、ご寄付を頂いたり、秋の同窓会主催フリーマーケットで、模擬店をしたり、微力ながら一生懸命同窓会運営費を備蓄して、こんにちに至っています。



総会・懇親会とアッと言ふ間の時は過ぎ、柳田先生と中嶋先生の指揮により全員で懐かしい校歌を歌いながら「次回も集まろう！」の約束のもとに3時間の会はお開きとなりました。二次会、三次会に流れる期も沢山ありました。

同窓会運営役員は、開催費用の捻出等、縁の下の仕事が多いのですが、同窓会を続けてゆくためには新しい力が必要です。ご協力、よろしくお願ひいたします。

第7回同窓会も懐かしさと楽しさいっぱいの会になりますよう、多くの方々のご出席をお待ちしております。

## 会場案内図



## 世田谷区立弦巻中学校同窓会 「弦の子」No.6 2010年5月発行

〒145-0016 東京都世田谷区弦巻1-42-22  
世田谷区立弦巻中学校内

発行人 新川勝二

編集 長瀬瑛侃子、森 明子、嵯川澄夫  
沼田 彰、近田優子、本田 崑  
長谷部 俊

印刷 南メイコウプリント